



かわい子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和7年2月臨時号



—他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成— 「強く 正しく 温かく」

令和6年度 学校評価の結果

保護者の皆様には、この一年間、本校教育に多くのご協力、ご支援をいただき深く感謝申し上げます。昨年末に実施しました保護者、児童、教職員による学校評価アンケートをもとに、今年度の教育活動について自己評価及び学校関係者評価を行い、今後の取り組みの方向性について下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

アンケートは1～5年生の保護者と児童を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまり思わない」、「D=思わない」、の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

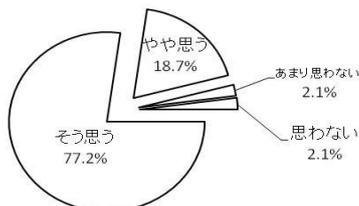
1 学校生活の満足度

学校生活の満足度について、全体的に肯定的な思いをもっている児童、保護者の割合が高いことが分かります。また、学習への取り組みや理解についても、児童、保護者共に高い評価を得ています。今後も、少人数指導や複数指導、中学校教員による教科担任制指導、ICT機器の効果的な活用により、児童が「わかる、できる」を実感する授業等、各発達段階に合わせて取り組んでいきます。また、小中教員による合同研修等による授業研修・授業改善をすすめ、自ら学ぶ力の育成にも努めます。

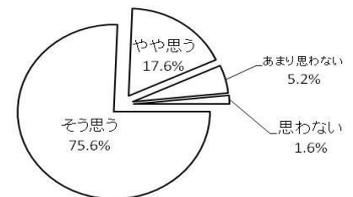
学校行事について、小中合同体育祭や小中特交流の日では企画段階から児童生徒が連携して教職員とともに内容について話し合い、児童生徒が主体的にすすめる場面を多く取り入れ、自己有用感や自己肯定感が得られるように工夫してきました。

1年を通して1～9年生の縦割り班でペアを作って活動する取組を始めて2年目ですが、昨

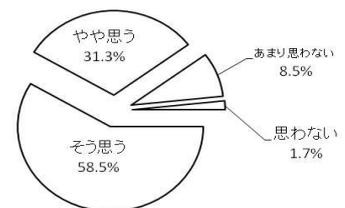
【問15】私は、学校行事（合同体育祭、ふれあい講座、音楽祭、マラソン大会など）を通して、成長している。（児童）



【問1】私は、学校や学級で楽しくすごしている。（児童）



【問1】お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。（保護者）



年度より深く関わり合いができ、互いに刺激し合って良い交流ができています。児童生徒と小中教職員が一体となって創りあげる行事になっていると感じています。音楽祭やマラソン大会では、練習を通して、仲間と共に協力し合い、高め合う経験をしました。それが、児童の達成感や満足度につながっていると考えます。今後も学校

行事が児童生徒一人ひとりの成長の場となるよう魅力ある学校行事を児童生徒と教職員が共に計画実施していきます。

2 家族とのかかわり・相談 連携

おおむね児童は困ったことがあれば、おうちの方に相談し、ご家庭では、食事中的会話等を通して、子どもたちを十分見守っておられる様子が伺えます。ただ、生活の乱れ等により思うように相談ができず、より満足できるかかわりを求めている児童がいることも伺えます。また、高学年になると家族より友だちに相談することが少しずつ増えてくるようです。学校でも児童のSOSのサインを受け止め、不安や困り感に寄り添い関わりたいと思います。各家庭へ連絡帳や通信にて話題提供し、学校とご家庭の連携を密にするよう努めていきます。

今年度から取り組んでいる「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」についても肯定的な評価をいただいています。本が好きな子ども、友だちと仲よく遊べる子ども、自分の思いをうまく伝えられる子どもを、ご家庭と協力しながら育んでいきたいと思っています。

お子さまのことで気になることがございましたら、関係機関等、専門の相談もごさいます。いつでもご連絡ください。

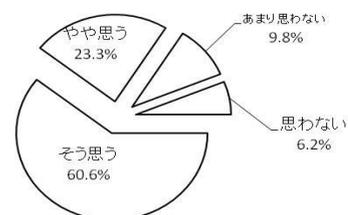
3 人権教育 自尊感情 仲間づくり

小中の合同行事や活動を通して、違いを認め合い、支え合う姿が見られます。今年度は「自分や友だちの良いところを見つけよう」を合言葉に1年間様々な取組をしてきました。人権集会で行った「良いところ紹介」では、自分や友だちの良いところを積極的に発表する姿が見られました。多くの児童の自尊感情が育っています。今後も「自分ができる！たのしい！」と実感できる学びを積極的に取り入れ、安心して活躍できる場をさらに増やしていきます。さらに、よりよい自分や仲間同士高め合う姿をめざして取り組んでいきたいと思っています。

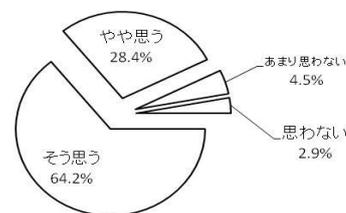
「親子人権講演会」や多文化共生の取組では、世界には多様な文化があることを知り、食を通して交流したり、現地の小学生とオンラインで交流したりする中で、違いを受け入れ共に生きることの大切さを考える機会となりました。

また、今年度は小中で道徳教育に力を入れ、教職員の研修も多数行ってきました。児童の道徳性を高めるための道徳授業や日常生活の中での道徳的実践力を

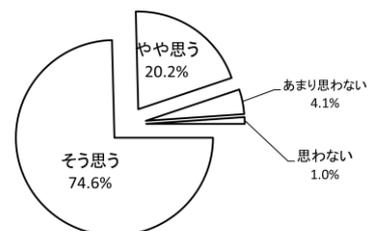
【問5】私は、困ったことがあれば、家の人に相談するようにしている。(児童)



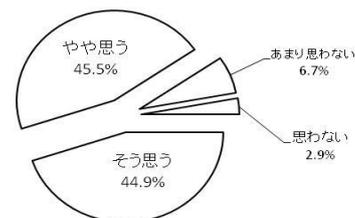
【問10】今年度から取り組んでいる「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」はよいと思う。(保護者)



【問12】私は、友だちにやさしくしたり、みんなと仲よく遊んだりしている。(児童)



【問11】学校は、道徳の授業や人権学習を通して、いじめを許さない心や生命を尊重する教育活動を進めている。(保護者)



育む指導や関わりを大切にしています。言葉遣いやあいさつに課題が見られますが、今後も、様々な行事や授業を通して、学校と家庭の連携により、幅広い人権感覚を身につけた心豊かな児童の育成に努めていきます。

4 健康な生活 体力づくり・安全な登下校

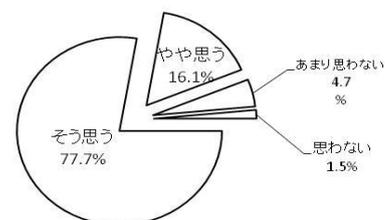
児童、保護者ともに9割以上が健康や体力作りについて肯定的な評価です。学校では、業間休みや昼休みに、運動場でドッジボールやサッカー、縄跳、一輪車、竹馬、鉄棒、上り棒、シーソー、滑り台やブランコなど様々な遊びを楽しむ児童の姿がたくさん見られます。また、毎朝の健康チェックなどで自分の体調を意識することで健康管理に主体的に取り組める児童も増えてきました。今後も、「早寝早起き朝ご飯」の徹底と学校での体育の授業・元気アップでの体力作りをご家庭との連携により続けていきます。

交通ルールはおおむね守れていますが、登下校（路上、電車・バス）でのマナーやルールについて、地域からご助言をいただくことは今年度も度々ありました。PTAと連携した下校指導では、2学期以降高学年の態度を褒めていただくことが増えてきましたが、課題は残っています。来年度から6年生を含めたさらに安全な集団徒歩通学に取り組みながら、児童の安全指導・命の教育の充実をはかっていきます。また、保護者や地域の皆様と協力しながら防災意識の向上に努め、学校安全事業に力を注いでいきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

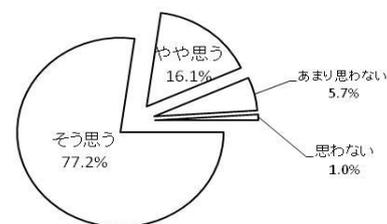
5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育を始めて10年目の節目を迎え、小中教職員全員で小中一貫教育をより充実させるための取組について話し合いました。児童の9割以上が「小中の合同行事やふれあい活動を通して成長している。」と肯定的に評価し小中一貫教育の良さを感じている一方、保護者の方々には、具体的な成果を実感していただけていないと感じております。来年度に向けた話し合いの中で出た改革案を推し進めつつ、今後さらに、中学校教師による専門的な教科指導や小中合同行事、発達段階に応じた学年行事など小中一貫教育のねらいや活動内容、児童の成長の様子など、5・4制の小中一貫教育の良さを積極的に情報発信していきます。そして、小中や地域の「つながり・かかわり」を意識したより魅力ある教育活動をさらに工夫し実施していきますので、保護者の皆様や地域の皆様には、オープンスクール等で児童の様子をご覧いただき、児童の成長する姿を見守っていただけたら幸いです。

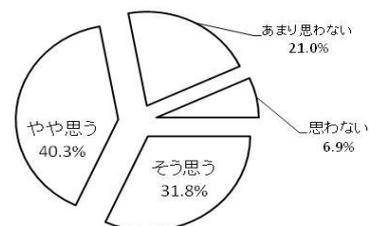
【問13】私は、しっかり食事をして、遊びや運動に取り組んでいる。(児童)



【問14】私は、交通ルールを守って安全に登下校したり、家では危険な遊びをしないように気をつけたりしている。(児童)



【問15】5・4制の小中一貫教育の取り組みについて理解し、お子さんの成長に有効だと感じている。(保護者)

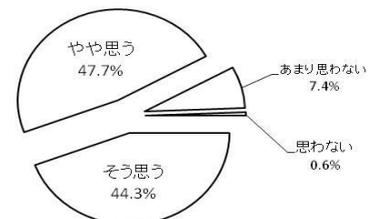


6 学校・家庭との連携

学校はHP、学校通信、学年通信、保健だより等で、日ごろの学校の様子をお伝えしています。今年度も、学校HPで行事等での児童の様子を即時かつ広汎にお知らせするよう努めました。保護者や地域の皆様と情報を共有することで、お子様の教育活動効果もより高まると考えます。

地域の見守り隊や民生委員の方々により、登下校や行事等に協力いただいています。今年度も、PTAの協力により、運動場の除草や排水溝の土上げ、学校施設の環境整備が行われました。日常的にも図書室整備やウサギ飼育、大豆植えボランティアとして、保護者や地域の方々のご協力により、児童の教育活動が充実しています。

【問17】学校・学年・学級便りやHP・メール、連絡帳を通して、いろいろな情報や連絡を共有している。(保護者)



7 学校関係者評価結果 ご意見 ご感想

○保護者が困っているときに、学校だけではなく、関係機関とも協力しながら支援していく必要がある。核家族で共働きの世帯が増えているので、学校と家庭と関係機関が連携して常に情報共有しながら子どものSOSを見逃さないようにしないといけない。地域の協力が得られるとなお良い。

○学校だけが子どもを教育するのではないという考え方を保護者も持つほうが良い。学校、家庭、地域、みんなで子どもを育てるという意識を持ちたい。

○SNSが子どもに与える影響を心配している。SNSでつながって子どもが犯罪に巻き込まれているというニュースをよく目にするが、「自分は大丈夫」と思い込んでいる子どもや家庭が多い。

○新聞を取っていない家庭も多く、ネットニュースの偏った情報しか得られていないことを危惧する。フェイクニュースなど正しいのかどうか自分で判断ができないような情報があふれているので、インターネットやSNSに関連する学習が必要だ。

○河合小学校の在籍児童数が今後も微増していくという情報がある。河合地区は保護者同士も仲の良い地域だと感じているので、みんなで協力して子どもたちを育てていければと思う。

○来年度、コミュニティスクールも始まるので、地域の方や保護者の協力も得て、一緒に防災訓練や避難所開設訓練を行ったり、講演会等に参加していただいたりしながら、学校、保護者、地域が一体となって安全教育を行っていききたい。

保護者の皆様には、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。今回、ご回答いただきました項目について学校内で検証を行いました。本校の児童は年々落ち着いた生活を送ることができており、それも家庭や地域の方々に支えられているためであると、アンケート結果より改めて感じることができました。そして子ども達のアンケートからも学校生活に前向きな気持ちで取り組んでいる様子がうかがえました。一方で来年度に向けたご意見もたくさんいただきました。保護者の皆様や地域の皆様のご期待に添えますよう教育活動の充実に向けて努力してまいります。今後とも本校教育にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。